



2020.8.15 初聖体

キリストの十字架

主任司祭

パウロ・フィラデルフィ

南山教会の皆様、9月14日は十字架称賛の日です。この日はキリストの十字架に捧げられた南山教会のお祝い日となっています。大聖堂の正面に掛けた十字架は、よくみんな眺めたことがあると思います。刑罰の道具となる十字架は侮辱と痛みをもたらす恐ろしいものですが、キリストの十字架は救いをもたらす道具となっています。このように思うと十字架を親しく感じる事ができると思います。私たち自身自身の孤独、体の痛み、心の不安を覚える時こそ、キリストの限りない愛と救いの招きを思い浮かべることができると思います。十字架を握って、自分自身を神様に委ねてみれば、苦しみの苦味は不思議な甘美さに変わります。

9月には敬老の日があり、人の人生が熟してきたことを尊敬することができます。特にお年を重ねられていらした方々は、十字架をたくさん体験したことも、先ほど考えた十字架の意味も理解したこともあると思います。十字架について証しする聖パウロは、次のように言います。「十字架の言葉は、滅んでいく人にとっては愚かなものですが、わたしたち救われるものには、神の力です。」と。キリストの十字架によつて弱さではなく神の力が現れます。十字架上の死によつてキリストが死を打ち砕き、復活されたからです。皆さん、私たちがこのような十字架の知恵を学び、自分の誇りとしましょう。



平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

洗礼・初聖体を受けて

ヨセフ さとだ はつほ
 ぼくは、8月15日に、はつせ
 いたいと、せんれいをうけまし
 た。おねえちゃんたちがまえ
 に、うけていたので、たのしみ
 にしていました。みなさんにお
 いわいをしてもらってうれし
 かったです。

ぼくもイエスさまにいつもみ
 ていてほしいとおもいます。

せんれいしきをおえて

フランシスコアシジ 北川 遼
 かみさまの子になってとても
 うれしかったです。リハーサル
 ではきんちようしましたがほん
 ばんはとてもはじめてのけいけ
 んになってたのしかったです。
 フランシスコアシジのようにと
 ても生きものをたいせつにしと
 ても鳥や虫など生きものにくわ
 しくなりたいです。

マリア 武花凜

初聖体を受けることができました
 ました。きんちようしたけどたの
 しかったです。みんなとかみさ
 まのべんきようをすることがで
 きてこれからも神さまの言葉を
 大切にしていきたいです。

テレサベネディクタ

てい こころ

はつせいたいをうけられてう
 れしかったです。せいしよろう
 どくは、ちよつときんちようし
 たけどがんばりました。ごせい
 たいをたべられたこともうれし
 かったです。これからごせいた
 いをいつももらえるからたのし
 みです。

はつせい体をうけて

クララ いとう みさと

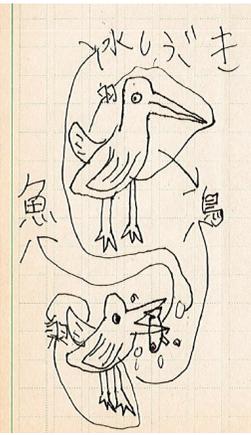
はつせい体をうけるときに、
 すごくきんちようしていまし
 た。でも、やっていると、は
 きんちようしないで、ふつうに
 できました。

いえすさまの、体をいただい
 て、かんげきしました。

はつせい体をうけるまえに、
 こくはくしつにはいって、しん
 ぶさまにはなせて、すつきりし

ました。

ぶたいたててうれしかった
 です。ドレスもきれてうれし
 かったです。



典礼一口メモ

♪香部屋の窓から♪

第32回 「キリストと我等のミサ」のお話 2

典礼委員長 新内飛鳥

前回のお話の続きです。今回も赤本の記述を紹介してゆきまされ、「歌の重要性」について説かれていきます。「主」の再臨を待ち望みつつ一つに集まるキリスト信者は、詩編、賛歌、霊の歌を共に歌うようにと「使徒」から勧められています。歌は心の喜びのしるしであるからです。いみじくも聖アウグスチヌ

スは、「歌を歌うのは愛している証拠」と言いました。古くからのことわざにも「よく歌う人は倍祈ることになる」と書かれています。

もつとも、緊張感に強くない人や歌が苦手という人もいます。歌うことが絶対ではありません。祈ってない」ということではなく、歌わなければ半分しかいのでご安心ください。歌い上げることで美しさが増す面はあります。心を込めて唱える言葉の持つ美しさも負けず劣らずと、歌の大切さの後に書かれています。

ている事柄は「沈黙」についてです。聖なる沈黙も、祭儀の一部として、守るべき時に守らなければなりません。沈黙の性格は、それぞれの祭儀のどこで行われるかによります。ゆるしを求める祈りの時、および祈願への招きの後には、各人は、自己に心を向けます。聖書朗読または説教後には、聞いたことを短く黙想し、聖体拝領後は、心の中を神を賛美して祈ります。ちなみに多くの奉仕者が参与する南山教会のミサでは、朗読後の沈黙について相応しい時間にはらつきが出ないように30秒を定めています。とはいっても時計やストップウォッチで測っているわけではありませんから皆さんの体内時計によって微妙な違いはあります。この超微妙な違いもその日そのミサの味わいの一つなのかもしれません。

「ミサ」の祭儀はキリストの行為であり、教会の位階によって秩序立てられた神の民の行為です。全教会にとっても、地方教会にとっても、また信者一人ひとりとっても、キリストの生活全体の中心である。ミサの中には、キリストにおいて世

を聖とされる神の働きの頂点があり、また、人々が神の子キリストによって御父に捧げる礼拝の頂点がある。さらに、ミサの中では「あがない」の諸神秘が一年を周期として思い起こされる。こうして「あがない」の諸神秘が、ある意味で現存するものとなるのである。そして、他の聖なる行為及びキリスト教生活の全ての行いはミサと結ばれており、ミサから流れ出、ミサに向かって秩序づけられている。そのために、祭儀全体が、信者の意識的、行動的、充実した参加を促すように整えられることが望ましい。これは心身の参加を意味し、信、望、愛を駆り立てるものであり、教会が望み、祭儀自体の性格によっても求められており、キリスト者が洗礼の秘跡によって受けている権利と義務でもある。

なかなか読み応えのある文章ですが、これ以上足しも引きもできないうまくまとまった文章です。からわかりづらいつきは繰り返して読むことを勧めます。皆さんもぜひ、赤本を手にとって注釈に目を向けてみてください。た



司祭団より

ケレハ神父様お通夜・葬儀について

2週間前突然心筋梗塞で亡くなられて葬儀を行いました。皆様に参加することは出来ませんでした。皆様のお祈りを頂きました。ありがとうございます。

9月よりミサ・教会活動の基本方針について

9月の活動再開に際して困難な中、皆様のご協力で行うことができています。ありがとうございます。

成井神父様より司教叙階式にたくさんの方が参加できない為ビデオを用意したこと、メッセージが届いています。

ビデオを通して祈りのうちに参加してくださると幸いです。

9月22日午前10時より
<https://bit.ly/3hv2zqn>

信徒会館取り壊し後の再利用について

旧信徒会館が2年程放置状態になっていきます。今年の4月か

ら、営繕委員会にて壊して新しい信徒会館を建てるための協議を行ってきました。大住建築士とも協力をして予算を抑えた上で、売店・子供部屋・2つの叙任司祭室・作業部屋(会計のため)倉庫・トイレ等が入りま

す。これが実現すればすごく便利になります。木造の平屋で予算を抑えます。60年位使えるはず。駐車場も少なめで10台ほど増やしつつ、子供たちが遊べるスペースも用意できます。ジェブラ管区長も応援しております。完成すれば南山教会の司牧活動をしつかり行うことが出来ます。

報告・連絡事項
 1. 営繕委員会・大規模補修プロジェクトチームより

(営繕委員会)
 大聖堂の雨漏りがあり、危うくオルガンが水浸しになるところでした。緊急承認で修理をし

て80万円ほど掛かりました。また、大聖堂と小聖堂入口のペンキの塗り直しが必要です。見積書を添付しています。合わせて90万円ほどの予定です。大規模修繕のほか教会構造物

のコンサルタントの大住建築士に年間47万円ほどの費用を支払います。旧信徒会館の解体に900万円ほどかかります。新信徒会館の建設に6000万円ほど外構に1000万円ほど、設計・コンサ

ルに630万円ほどかかります。合計で約8526万円を超えないようにという話で進めています。それ以外に旧信徒会館に通信系の機器が集中しているのでその対応も必要です。

工程については、決定後1年半ほどで竣工の見込みです。添付の図面について説明がなされました。駐車場を10台確保しつつ子供が安全に遊べる設計にしています。

質問・間取りについて広く信徒の意見を集めますか？
 営繕委員長：これをマスタープランとしてすすめたい。細かい変更等は可能ですのであれば早めにご意見を頂きたいです。

パウロ司祭・建物の使用に関する方々に主任司祭としてご意見を

お聞きしました。昨年までは、まず旧カトリック会館を取り壊してから考えるという流れでした。

プロジェクトで今の工程になったことに関して説明をしたいと思います。運営委員会の方々に意見を練っていただき、10月の信者全体集会で発表します。

補足として、取り壊しについて管区長に意見を伺ったところ、新しい信徒会館の計画が進むのならば承認したい。それ以外にも、壊すだけでその後の敷地の使用計画が無いと整地など2度手間の部分が発生して費用増ともなる、とのことでした。

質問・資金の問題について信徒の皆さまにどのように説明をされますか？
 営繕委員長：それについては財務委員長から説明をいたします。

財務委員長：現時点で9000万円ほど預金があります。当初の意見としては7000万円ほどで抑えたいという提案をしましたが、現実的にはなかなか難しいようです。しかし、なるべく抑えられるように努力致します。

パウロ神父様：ある程度の資金はあるかと思えます。募金もします。具体的な資金計画は決定後となります。それまでに色々

な方策を考えます。

鐘樓の対策については、対策案・予算共に難しく、聖堂側には倒れないとの事なので現状保留とさせていただきます。

2. 納骨堂管理委員会より

(納骨堂管理委員会)

9月26日に委員会を開催します。今後の方針を決めます。594の納骨段の内174が未収用です。アンケート調査をしたうえで納骨壇を増設する計画を立てる流れです。左記の方針に基づいて、数と予算が固まりましたら10月の運営委員会でご報告いたします。

3. 各団体、委員会の委員の名簿の配布

(運営委員会)

資料として配付しました。間違いがあればご指摘ください。運営委員会のメンバーと事務所のみ配布します。個人情報ですので取り扱いに注意をお願いいたします。

4. 2019年度各会活動報告提出依頼の件

(運営委員会)

まだ出ていない団体がありましたら早急にご提出をお願い致します。

資料は昨年度の活動内容ですが、今年はずでに半年間が過ぎているので全体集会でお知らせはその期間を踏まえた内容でお願いいたします。

5. 敬老会の中止と病者の塗油の実施について

(主任司祭・典礼委員会)

典礼委員会より、敬老会は教会のお知らせでも中止の案内をしております。病者の塗油は9月12日と13日のすべてのミサの閉祭後すぐに実施をします。

13日の9時半と11時のミサ後、教会学校の子供たちが作ったカードをお年寄りの方に配布します。

要約筆記の会が9月12日(土)17時のミサで協力します。

審議・相談事項

① 8月29日よりの公開ミサについて・公開ミサの典礼について

(主任司祭・典礼委員会)

8月度の中止以前の形で再開します。主任司祭より歌を再開したい旨要請があったので、典礼委員会としては、ミサ対話の中での記念唱(信仰の神秘)など司祭の歌にこたえる形での歌の再開。「答唱詩編」と「アレルヤ唱」から再開したいと考えています。

すがいかででしょうか？答唱詩編の先唱の形について、音を取るのが難しいことが度々あったようでやり方を再検討してほしい。

次回の典礼委員会で協議します。記念唱を歌うことなどは司式司祭の裁量で判断します。

② 公開ミサのコ罗纳・熱中症対策について(運営委員会・ヨセフ会・マリア会)

資料・主日のミサのコ罗纳対策について審議。添付資料の内容を読んでいただき、訂正・加筆がありましたらメールにて運営委員長にご連絡ください。

③ 教会行事について

教会バザーについて

「新品・中古品売り場」にて長期間の準備が必要である事、「各種売り場」において3密対策を行うことが困難であること

を踏まえ、前回の運営委員会で例年の様な形でバザーを行うことは、無理であることが確認されました。

バザーの中止に伴い、教会美化後のバーベキューを皆様の親睦を深める場にしてはどうかという提案がパウロ神父様よりありましたので、その方法につい

て検討したいと思えます。

④ 教会美化について

(運営委員会)

当初9月に予定されていましたが、10月に延期がよいかともわれまます。

その際、カトリック会館の内今後も必要な物(机など)をマリア館倉庫に移動する必要があります。同時に教会美化までにマリア館倉庫の整理を行います。

それまでに、今後の活動で倉庫の品が必要かどうか各会で検討していただいた上で、教会美化までに各団体で必要なものにするしをつけていただき、しるしの無いものを廃棄してはどうかと思えます。

10月25日、教会美化後に感染対策を行った上で小規模な形でバーベキューを行うのはどうか？

意見・危険だと思ふ。

運営委員長・あくまで予定です。10月25日の新型コロナの状況が分かりません。今のような状況では難しいとは考えています。

意見・親睦の為なので、ドリンクのみでどうか？主任司祭・個別のお弁当など

という方法もある。

運営委員長・10月の予定なので、次回運営委員会までに皆様に親睦の方法を考えていただき審議いたします。

マリア館倉庫の不用品の破棄について、今週中に売店にテープを用意しておきます。必要な物にテープを張ってください。不用品はカトリック会館に置いてください。

⑤典礼奉仕者全体集会(10月11日(日)開催予定)

・信徒全体集会(10月18日(日)開催予定)

・ヨセフ会全体集会(11月中旬に開催予定)

日程の確認と、3密対策の為に何処でどのようにして行うかを審議

あくまで予定です。新型コロナの状況次第です。

それぞれ準備をお願いいたします。

⑥各会の集まり、行事においてのコロナ対策は各会にお任せいたします。ただし、50名を超えらる会については神父様の許可が必要です。

⑦クリスマスミサに関して

(主任司祭・典礼委員会)

ミサの回数を増やす方針、ミサはすべてのミサを同じように行う。

クリスマス時期の状況が読めない中、様々な意見が出ました。今の状況が続いてしまったら回数を増やして分散を図る方針です。

⑧9月より(後期の)行事予定に関して

(運営委員会)

予定表を確認する

対策を行った上での予定です。各団体で取りやめ・変更などがありましたらメールにて運営委員長にお知らせください。訂正をいたします。

3. その他

大聖堂のインターネット環境について

(ヒ神父様・営繕委員会)

新型コロナの関係でインターネット配信のミサを行っているが回線の安定性に欠けるので有線が必要。

司祭館から有線を仮設で引きます。数万円かかる見込みです。

各会報告

要約筆記者の会

9月9日(水)

10時から勉強会を行います。

ます。

次回 10月4日

◎主日のミサのコロナ対策について

運営委員会よりのおねがい
愛知県の緊急事態宣言が解除となり、松浦司教様の教区の方針を受け、パウロ主任神父様のご判断で
8月29日から主日の公開ミサが再開されました。
また教会行事についても、9月より十分な対策を行い、再開する予定です。さしあたり、8月29・30日の御ミサは8月の緊急事態宣言以前の御ミサの対策に準る形で行い、再開されました。

今後、皆様が安心して教会のごミサや行事に参加できるように、以下のコロナ感染症対策を十分に行ってまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

①主日のミサの集中防止に関して

主日のミサは土曜日17時、日曜日8時・9時半・11時・18時に同様の形で行われます。9時半のミサに与る方が比較的多くなっていますので、可能な限

り土曜日17時、日曜日8時・11時・18時のミサに分散ししていただけるようお願いいたしました。

②お出かけ前の体温の測定・体調の判断のお願い

皆様への感染防止の為、感染者との濃厚接触が疑われる方、お出かけ前に体温が37.5度以上の方、平熱より1度以上高い方、体調のすぐれない方は、ミサに与えることをご遠慮していただきます。

また入堂時、熱感を感じた方、体の変調を感じた方はミサ案内係が検温を行いますのでお申し出ください。

③マスク・フェイスシールドの着用に関して

ミサの際、マスク・フェイスシールドの着用をお願いいたします。

呼吸器疾患、アレルギーなどの身体上の理由でマスク・フェイスシールドの着用が無理な方は、専用のお席をご用意いたしますので、ミサ案内係にお申し出ください。

④席の指定と除染について

3密を防ぐ為、緑色のテープの貼付場所に各一名が着席(ご家

族・同伴者は除く)し、

進行係の指示に従い、着席された席の除染を行っていただきます。

⑤記名と手洗いと手の除染について

入堂の際、まず記名をお願いいたします。

記名後必ず、設置のアルコール除染液で手の除染を行ってください。

また退堂時も手の除染をお願いいたします。

教皇様のミサに参加して

VU QUOC HOA

東京ドームでの教皇様ミサに抽選で当選し、参加できることに凄く興奮しました。ミサに行く何日も前から楽しみでソワソワした気持ちが毎日続いています。小学校の頃の運動会、遠足に行く前の子供の気分のように懐かしく思い出しました。しかし、小さい時はミサに行くことに対して、教会のミサ参加は義務に似た習慣の気持ちでいました。大人になって少し心変わりしました。日々のお祈りも同じようにかわっています。



東京ドームに到着して更に興奮しました。ドームの周りには数万人と今まで見たことのない多くの人が自分と同じカトリック教徒で、同じ気持ちでミサに参加すること事を想像し、誇らしく思いました。

例えば、自分の小さい頃はカトリック教徒、信仰心に周囲の人が気が付かない様に隠していました。子供ながら引け目を感じていました。しかし、ドームでのミサに行くことに自慢する気持ちが勝つている自分がいることに気がついて、信仰心を隠す必要が

無いこと強く思いました。みんな同じ気持ちで教皇様を迎えし、ミサに参加し、祈りを捧げることに更に興奮しました。フランシスコ教皇様の登場した時に感極まって涙が溢れ止まりませんでした。感動でこんなに泣いたことがありません。

これからもイエス様への信仰心を持って世界の人々のために祈り捧げることを強く思いました。アーメン



南山句会

令和二年八月



*句会が開催されませんでした。

すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り

宇宙万物の造り主である神よ、
あなたはお造りになったすべてのものをご自分の優しさで包んでください。
わたしたちが傷つけてしまった地球と、この世界で見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに気づくことができますよう、一人ひとりの心を照らしてください。

無関心を遠ざけ、貧しい人や弱い人を支え、ともに暮らす家である地球を大切にできるよう、わたしたちの役割を示してください。

すべてのいのちを守るため、
よりよい未来をひらくために、聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、あなたの愛の道具として遣わしてください。
すべての被造物とともに
あなたを賛美することができますように。
に。
わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

信者の消息

受洗

おめでとうございます

アシジのフランシスコ 北川 遼
ヨセフ 里田 初穂

帰天

神の栄光にあずかれますように

アルベルト 阿江 茂 (93歳)
ヨハネ・ベルクマン 松野 隆雄 (80歳)

転入

ようこそ

カタリナ 佐々木 靖子 (岐阜教会)
ミカエル 坂口 岳大 (千里ニュータウン教会)
セシリア 坂口 ほの (千里ニュータウン教会)
ルチア 坂口 さき (千里ニュータウン教会)

教会維持費

7.8月は2,036,360円の維持費が納められました。有難うございました

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

お詫び：7月号の転入者のお名前に間違いがありました。

(誤) 鉾納 → (正) 鋤納
申し訳ありませんでした

大規模修繕基金

7.8月分

162,230円のご協力をいただきました。ありがとうございました

2020年9月・10月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(月)十字架称赞	12(土)・13(日)の主日のミサ後病者塗油の秘跡 敬老会中止	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)11:00運営委員会 6(日)教会学校始業式 12(土)要約筆記付きミサ 12(土)典礼委員会 13(日)中高生会始業式 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(日)要約筆記付きミサ	6(日)被造物を大切に する世界祈願 日 22(月)八事霊園合同 追悼ミサ 27(日)世界難民移住 移動者の日
10月	ロザリオの月	25(日)教会美化・懇親 会	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)11:00 運営委員会 11(日)教会周辺清掃・教会学校巡礼 10(土)典礼委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	11(日)東八事第一墓地 合同追悼ミサ 18(日)世界宣教の日 (献金)